

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 20 日

評価対象事業		評価者	文化財施設課長 森 啓匡		
文財-07	実施事業	国宝館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化財施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保存、調査・研究、情報の充実	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉ゆかりの文化財を収集、受託、保管し安全に後世に伝えるとともに、調査・研究、展示をおとして市民等の利用に供するため。
効果	現在国宝5件43点、重文75件872点をはじめ、館蔵品・寄託品併せて1,000件、5,000点を超える収蔵品を保管し、文化財の保全と活用を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉国宝館を円滑に運営するため鎌倉国宝館協議会を開催し、また、非常勤嘱託員及び臨時的任用職員を雇用した。</li> <li>・(公財)氏家浮世絵コレクションの円滑な運営を図るため補助金を交付した。</li> <li>・7回の特別展、1回の平常展を開催し、また、関係図書を出版・頒布して市民等の利用に供した。</li> <li>・収蔵資料を良好な環境の下で保存管理した。</li> <li>・鎌倉国宝館の適切な維持管理を行った。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	67,905	56,727	当初予算(千円)	77,949
	国県支出金	2,239	1512	国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	19,215	13,313	その他	23,135
	一般財源	46,451	41,902	一般財源	54,814
	人員配置数	3.5	2.5	人員配置数	4.0
			会計年度任用職員配置数	3.2	
事業経費運営	人件費(千円)	27,347	19,533	人件費(千円)	36,674
	総事業費(千円)	95,252	76,260	総事業費(千円)	114,623
	市民1人当りの経費(円)	540	432	市民1人当りの経費(円)	649
			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> -2. 適正な受益者負担を導入している
		<input type="radio"/> -2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉国宝館友の会 (公財)氏家浮世絵コレクション 玉縄城址まちづくり会議
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する	事業へ統合
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	鎌倉ゆかりの文化財をより安全に後世に伝えるには、施設の老朽化対策や、公開承認施設再登録に向けた設備面での対応、免震設備未設置部分への対策を実施する必要があるため。
<p>・鎌倉国宝館は鎌倉市域、近隣の社寺に伝来する貴重な文化財の寄託を受けており、これらを後世に伝えていくために必要不可欠な施設であることから「関連・類似事業との統合」の可能性は無く、廃止による影響は大きい。</p> <p>・事業の方向性や手法は概ね適切であるが、更に鎌倉の歴史や文化に関する情報や学習機会を提供していくための収蔵品の充実、展示や講座の積極的な実施、学校教育・生涯学習事業との連携などに努めていく。</p> <p>・観覧料の導入等により受益者負担を実施している。また、関連団体との協働事業を実施している。</p>		

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵品を更に充実させ、魅力ある展示やその他の催しを企画し入館者の増加を図る。</li> <li>・施設の老朽化への対策、免震設備対策、バリアフリー対策を継続する。</li> <li>・学校教育の場としての利用を更に促進する。</li> <li>・鎌倉歴史文化交流館と連携し、鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努める。</li> </ul>	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・置き型免震台(7台)の導入を行った。</li> <li>・特別展開連講座や出張講座といった一般向けの公開講座を実施したほか、市内外の小中高等学校の学校行事による利用について、職場体験の受入や、出張授業、特別解説等を実施して学校教育との連携を図った。</li> <li>・学芸員等の研究成果を収録した、鎌倉市教育委員会文化財部調査研究紀要を刊行した。</li> <li>・鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会を2回開催した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵品を更に充実させ、魅力ある展示やその他の催しを企画し入館者の増加を図る。</li> <li>・施設の老朽化への対策、免震設備対策、バリアフリー対策を継続する。</li> <li>・学校教育の場としての利用を更に促進する。</li> <li>・鎌倉歴史文化交流館と連携し、鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「新しい生活様式」を考慮した設備対策・展覧会運営に努める。</li> <li>・配置人員の経験年数不足により、令和元年7月に公開承認施設の登録が取消処分となったことから、早期の再登録に向けて設備面や人材面での課題解決を図る。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	令和元年度(2019年度)入館者数(人)							
団体名								
他市実績	鎌倉国宝館	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立金沢文庫	横浜市歴史博物館	川崎市市民ミュージアム			
	36,644	確認中	確認中	確認中	確認中			
比較事項	令和元年度(2019年度)観覧料収入(千円)							
団体名								
他市実績	鎌倉国宝館	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立金沢文庫	横浜市歴史博物館	川崎市市民ミュージアム			
	11,849	確認中	確認中	確認中	確認中			
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	入館者数	単位	人	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
当該事業へのニーズや反響を把握するため。	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
	実績値	30,875	50,585	44,961	47,282	48,907	36,644
	達成率	44.1%	72.3%	64.2%	67.5%	69.9%	52.3%
指標の内容	観覧料収入	単位	千円	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
当該事業を実施することにより、もたらされた収入額を明らかにする。	目標値	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
	実績値	10,369	16,139	14,597	15,565	16,821	11,849.0
	達成率	48.2%	75.1%	67.9%	72.4%	78.2%	55.1%
指標の内容	免震型展示ケース等導入実績	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
来館者の安全を確保するとともに、展示資料を保護し後世へ伝えるため。	目標値	-	-	60.0	70.0	80.0	100.0
	実績値	-	-	60.0	70.0	80.0	100.0
	達成率	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
指標の内容	鎌倉歴史文化交流館との連携事業実施回数	単位	回	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
鎌倉歴史文化交流館との連携を行うことで、より鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努めるため。	目標値	-	-	-	-	10.0	10.0
	実績値	-	-	-	5.0	4.0	6.0
	達成率	-	-	-	-	40.0%	60.0%
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度(2019年度)は、平成30年度(2018年度)に比べ、大型台風や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたため、入館者数・観覧料収入ともに減少した。引き続き収蔵品の充実を図り、魅力ある展示やその他の催しを企画して入館者の増加を図るとともに、展覧会についての積極的な広報活動を行うことで観覧料収入の増加に努めていく。</li> <li>・免震型展示ケース等の導入実績については、置き型免震台を導入することで目標値を達成できた。</li> </ul>						